

薬害でっちあげ  
あまりに非科学的な子宮頸がんワクチン阻止運動 新潮45eBooklet  
t



発売日: 2017年1月18日  
出版: 新潮社  
著者: 村中璃子  
ページ: 36  
PDF

2013年、子宮頸がんワクチンはわが国の定期接種となった。ところが、ワクチンを接種した少女たちの一部から、けいれんする、歩けない、勉強ができなくなった、などの訴えがあっ

た。その結果、接種は事実上の停止状態となり、国とワクチン製造会社を相手取った集団提訴が始まっている。しかし、少女たちの症状とワクチンの因果関係が科学的に証明された例はない。それどころか、因果関係がないことを示す名古屋市の調査結果は伏せられ、ある厚生労働省研究班の発表は世論をミスリードした。

<http://k2s.cc/file/0c5d37ae6aac0/3fyNDhvlo.pdf.rar>